

2021 年度事業計画

1. 図書館事業

1. 収集

- ① 寄贈・寄託資料の受入
- ② 資料の購入（雑誌欠号補充ほか）
- ③ 寄贈・寄託事務規定等整備

2. 整理

- ① 寄贈・寄託および購入資料の整理

図書 大手出版社新刊ほか出版社・個人寄贈書
曾根博義文庫（継続 2020 年 11 月末現在 950 冊登録済）
青木鐵夫収集藤枝静男コレクション（継続）
平岩米吉旧蔵書、金子武夫氏旧蔵書、掘尾宗久氏寄贈図書（継続）
瓜生鐵二文庫
山川方夫文庫 ほか 計約 4,000 冊

雑誌 出版社寄贈新刊、同人誌、会報、紀要
購入雑誌（主に欠号補充）
紅野敏郎文庫（継続）（2020 年 11 月末現在 累計 11,397 冊）
川上春雄文庫・柴生田稔文庫（継続）
高見順文庫・社会文庫・美土路昌一コレクション（追加・未整理分）
ほか 計約 10,000 点

特別資料 <登録予定>

伊藤整文庫（継続）
片山敏彦文庫書簡
昭和戦前期プロレタリア文化運動資料（継続）
澤木欣一・細見綾子資料（継続）
紅野敏郎文庫（継続）
平山米吉旧蔵諸家原稿、上田敏雄コレクション ほか 計約 3,000 点
<整備・登録準備 継続>
志賀直哉コレクション

- ② 図書・特別資料の遡及入力

図書 芥川文庫（芥川文庫目録増補改訂版準備／継続中）
一般書架配架の作品、全集正本

特別資料 文庫・コレクションを中心に（継続）

- ③ 特別資料のデジタル画像化

3. 閲覧・公開

- ① 駒場本館 休館日＝日曜、祝日以外の月曜、月曜祝日の翌火曜（または月曜を含む連休の翌日）、第4木曜、年末年始、特別整理期間
成田分館 開館日＝毎月第1、第3土曜日（12月の第3土曜日、年始を除く）
- ② 資料複写、資料写真サービス
視聴覚資料を閲覧室の専用コーナーで順次公開する。

4. 出品等協力

<企画展示の貸出し>

北海道文学館「生誕110年太宰治展—創作の舞台裏」4月17日（土）～6月6日（日）

高志の国文学館「生誕110年太宰治展—創作の舞台裏」9月25日（土）～11月15日（日）

新潮社記念文学館「愛の手紙—友人師弟編」（2021年秋＝会期未定）

<その他>

特別協力：神奈川近代文学館「樋口一葉展」（仮称）10月2日（土）～11月28日（日）

5. 特別整理期間

6月15日（火）～19日（土）／2022年2月15日（火）～19日（土）

（電動式集密書架の改修工事に伴う書架移動作業、書架調整ほか）

6. 図書資料委員会

7. 志賀直哉コレクション研究委員会

2. 展覧会事業

1. 春季展示「中里介山「大菩薩峠」—明滅するユートピア」

会期：2020年4月3日（土）～6月12日（土）

編集委員：紅野謙介

部門構成：「一介の愚人—中里介山の出発」／「『大菩薩峠』の世界」／「さまざまな『大菩薩峠』」／「中里介山文庫」と西隣村塾／「『大菩薩峠』の影響圏」／「画家たちの協力と確執」／「演劇・映画への翻案」／「受容と評価の系譜」

目録を兼ねた図録を作成

川端康成記念室＝「川端康成と『文藝時代』の人々」を同時開催

2. 夏季企画展 「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅳ

—夏目漱石『こころ』 とその時代—

会期：6月26日(土)～9月11日(土)

編集委員：安藤宏・中島国彦

*7月(日未定)、関連講座「教室」と「文学」をつなぐ—日本近代文学館を橋渡しとして—

3. 秋季特別展 「築地小劇場の時代展」(仮題)

会期：9月18日(土)～11月27日(土)

編集委員：武藤康史

川端康成記念室＝「川端康成をめぐる書簡」を同時開催

4. 冬季企画展 本の装幀・雑誌の口絵・挿絵をテーマに(詳細未定)

会期：12月4日(土)～2022年2月12日(土)

編集委員：安藤宏・出口智之

5. 全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」

会期：2022年2月22日(火)～3月26日(土)

6. 「日本近代文学大事典増補改訂デジタル版リリース記念展」(仮題)

会期：「3.11 文学館からのメッセージ」と同時開催

編集委員：中島国彦・安藤宏・紅野謙介・宗像和重

3. 講座・講演会事業

1. 文学館へ行こう！

主に大学生・大学院生を対象とする文学館利用案内講座。春秋各2回、定員各回10名程度。

2. 資料は語る <資料で読む「東京文学誌」Ⅲ>

前期：3回=4月・5月第3土曜日、6月第2土曜日／

後期：3回=9～11月、各第3土曜日、定員各回20名

3. 声のライブラリー(石橋財団助成事業)

5月8日、9月11日、11月13日、2022年2月12日の各土曜日 定員各回20名

文学者の自作朗読と座談会。会の模様をビデオに収録し視聴覚資料の充実をはかる。

4. 「教室」と「文学」をつなぐ—日本近代文学館を橋渡しとして

7月（日未定）開催

夏季企画展「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅳ—夏目漱石『こころ』とその時代」にあわせ、中学高校教員を対象に、教育現場での文学館活用法（ミニレクチャー）や意見交換会（定員 30 名）をおこなう。書庫見学は行わず、当日の模様を ZOOM でライブ公開を検討（無料／定員を設定）。

5. 第 57 回夏の文学教室 「東京・TOKYO part 3」（仮題）

読売新聞社後援、8月16日（月）～8月21日（土）、有楽町・よみうりホール
受講者数制限等、開催方法は東京都およびホールの要請、ルールに則る。

6. 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理

8月24日（火）～28日（土）、館ホール、午前10時～午後5時10分（1日4コマ、計20コマ30時間、2単位）。定員20名。

7. 文学館職員研修講座

2022年1月下旬の3日間（日未定）

4. 刊行事業

1. 「文学者の手紙」

館編、博文館新社発行、「日本近代文学館資料叢書」第Ⅱ期
第8回配本別巻『写真アルバム』（編集翻刻・池内輝雄、紅野敏郎、曾根博義、十川信介）
の準備（本文校了済、博文館新社で製作進行中）。

2. 紀要「日本近代文学館年誌—資料探索」第17号

2022年3月刊行予定

3. 『日本近代文学大事典』増補改訂デジタル版

公益社団法人日本文藝家協会創立100周年、当館創立55周年・開館50周年記念事業として、2021年度末JapanKnowledge Libからの公開開始をめざし、データベース作成、校正・改訂作業、増補項目100件と新規立項項目100件の編集作業。

4. 『教科書と文学』

館編、秀明大学出版会発行、2021年6月刊行予定

2017年～2021年の夏季企画展（Ⅰ芥川龍之介「羅生門」、Ⅱ中島敦「山月記」、Ⅲ森鷗外「舞姫」、Ⅳ夏目漱石「こころ」とその時代）をもとに、展示物の図版とキャプションを中心に書籍を製作する。

5. 「芥川龍之介文庫目録増補改訂版」準備

長らく品切れとなっている『芥川龍之介文庫目録』（1977年7月刊、現在コピー版を頒布）について、追加受贈資料も含めた増補改訂版の準備。現在、龍之介旧蔵書（和漢書・洋書）の遡及入力中。

5. 運営審議会

- ・6月26日（土）、2021年度運営審議会開催予定

6. 全国文学館協議会

- ・6月16日（水）、幹事会、2021年度総会予定

7. 広報

- ・館報「日本近代文学館」を続刊

8. 設備改修工事

- ・電動式集密書架の改修：2021年度はH単位の改修を実施。
見積金額9,900,000円（税込）＝2020年度修繕引当金を取崩して充当
（2015年3月理事会で承認された電動集密書架等長期修繕計画にもとづき、2015～2021年の7年間にわたり7区画を順次改修する）
- ・地下変電機室幹線（高圧ケーブル）引替工事、見積金額500万円（税込）。

その他

- ・石橋財団から、斬新な企画があれば助成したいので、提案してほしい、とのお申し出を受けております（「声のライブラリー」助成も継続）。2021年度は「2020年の声のライブラリー」海外版のための英語字幕映像処理費用を、例年の「声のライブラリー」助成と別に追加申請いたします。